



真龍小便い

【学校の教育目標】

- ☆心と体をきたえる子
- ☆美しい心をもつ子
- ☆考えて行動する子
- ☆生き生きと学ぶ子

No. 8 令和元年9月30日発行

「恩返し」より「恩送り」

校長 武田昌彦

随分前のことですが、テレビを見ていると「高くても売れる豆腐」と「美味しい納豆」の話をしていました。初めは何気なく見ていましたが、おもしろくて、どんどん内容に引き込まれました。番組では、一人の青年が苦勞して「美味しい納豆」を作るのですが、美味しいからといって「売れる」とは限らず、苦勞したそうです。認められ、売れて行くまでのお話でした。そこには「奇跡」と思えるくらいの人との出会いがありました。出会った人たちからたくさんの助けがあり、色々な事を学ばせていただいたという内容でした。成功した青年は、その恩人にお礼を言いに行きます。そこで、「礼はいい、ものは順繰り。」と言われるのです。その恩人も、昔たくさんの恩を受け、お礼を言いに行った時に、「『恩返しより恩送りだ。誰かに受けた恩は別の誰かに返してやれ。』と言われた。」というのです。受けた恩で一人前になった自分。それをその青年にしてやった。「恩返し」より「恩送り」。とても感動しました。ちょうどその頃、「今まで自分はどんな仕事をやってきたのだろう。」などと、柄にもなく振り返っていた頃でもありました。教員として「人を育てる」という職に就き、「責任を果たすために、何をしてきたのだろうか。」と、働くという意味について考えていました。

「働」という字は国字です。労働という字は、中国の古い書物の中では「労働」と書いています。日本人がにんべんを付けて「働く」という字を作った意味を考えながら、「働く」ということと「仕事」というものを考えていました。「仕事」は、つかえると言う字を使いますが、目の前の色々な事をこなすだけの「使事」（つかわれる）になってはいなかったでしょうか。教師という職業は、「志事」（こころざす）でなくてはいけないのではないのでしょうか。若い人には「試事」（ためす）もしてもらいたいな。などなど・・・。

子ども達も、誰かに優しくされたり、助けてもらったりした時に、「感謝の気持ち」と誰かに返す「恩送り」の心をもってもらいたいと思いました。さらに、そのテレビの中で「仕事は金をもらうためにするんじゃない。自信と情熱でやるんだ。」と言っていました。子ども達にとって、今は勉強が仕事ですが、大人になった時に、本来の意味の「仕事」をします。

「仕事」「使事」「志事」「試事」その時々で変わるでしょうが、「自信と情熱」で向き合ってほしいと願います。



先日、コンビニでお客さんが、買い物に付けてもらった箸が使い物にならないと、苦情を言ってる場面に遭遇しました。かなり感情的になって苦情を言っていました。商品ならお金を出しているのだから分らないかと思いますが、サービスで付けてもらったものに、そこまで感情を表に出して苦情を言わなくても…。「何かが違うな。」と思いました。

10月の主な行事		
1	火	短縮日課
2	水	校外学習(3年:森高牧場) 運動の日
3	木	校外学習(1年:小師牧場) 読み聞かせ
4	金	短縮日課 クラブ 校外学習(4年:下水処理場)
5	土	
6	日	
7	月	学習発表会特別時間割開始 朝会(講話)
8	火	短縮日課
9	水	就学児スクリーニング検査
10	木	
11	金	短縮日課 係活動 会場準備
12	土	
13	日	
14	月	体育の日
15	火	短縮日課 体育館少年団使用禁止(~27日)
16	水	体育館遊び禁止(~27日) 全国地域安全運動(下校時)
17	木	スクールカウンセラー来校
18	金	短縮日課 係活動
19	土	土曜授業
20	日	
21	月	開校記念日
22	火	即位礼正殿
23	水	短縮日課 時数確保日 係活動 会場準備
24	木	学習発表会(児童公開日)
25	金	短縮日課 係活動 会場準備
26	土	
27	日	学習発表会(一般公開日)
28	月	振替休業日 自転車終了
29	火	短縮日課 いじめアンケート&QU(~31日)
30	水	短縮日課 午前授業
31	木	街頭指導

※行事は現時点での予定です。各学年便りでも改めてご確認ください。



◆自慢の図書室◆



本校に釧路管内で初めてとなる「学校司書」が配置されて、今年で2年目です。図書室は、いつもその時期に合わせた飾り付けがされ、テーマに合わせた本を集めたコーナーが目を引きまします。7月は「北海道博士になろう!」、9月は「防災関連の本」のコーナーが設けられていました。また、子ども達が本を読む意欲付けのためのキャンペーンも企画して行っています。本校自慢の図書室に、ぜひ足を運んでみてください。

◆体力測定競技会◆

9月3日は、町内の3年生以上の全児童が厚岸小学校に集まって「体力測定競技会」が行われました。大変暑い中でしたが、50m走、ボール投げ、立ち幅跳び、シャトルランの4種目の競技をがんばりました。



◆コンクリ工避難訓練◆

9月6日に、地震後の津波警報を想定した避難訓練を行いました。海拔が1mと大変低く、海が近い真龍小は、「津波警報が出たら、即、コンクリ工に避難!」という約束になっています。当日は、消防署・警察署・教育委員会のご協力をいただきました。この機会に、自宅にいる時の避難場所、避難経路などをご家族で改めて確認していただきますようお願いいたします。



◆人権教室◆

9月25日は、人権擁護委員の方による「人権教室」を3年生で行いました。人が幸せに生きるための権利である人権。いじめに関わるDVDを見て、自分の人権も他の人の人権も大切であることを改めて考える時間となりました。



◆芸術鑑賞◆

9月4日に、町内の全児童が真龍小の体育館に集まって芸術鑑賞が行われました。今年はジャズの鑑賞でしたが、子ども達の知っている曲でイントロクイズをしてくれるなど、親しみやすいような工夫がされていました。子ども達のアンコールに応え、最後は、町内3校の校歌をジャズで演奏♪それに合わせて子ども達は合唱♪ノリノリで大変盛り上がった2時間となりました。



『海の作品展』 ～入賞! おめでとう!!～

夏休み作品展の作品の中から、海に関する作品を『海の作品展』に出品したところ、3名が入賞しました。

☆最優秀賞☆

シャインカーピング(根布谷祐歩さん)

☆優秀賞☆

深海魚(高橋 凜太くん)

昆布で作ったクワガタ(関根充汰朗くん)



命を守る! ～自転車事故防止に向けて～

真龍小では、「自転車の点検」と「ヘルメット着用」と「保護者の同意」を条件に、4年生以上の自転車での登下校を許可しています。自転車通学している子どもは、「ヘルメット着用」や「一列走行」など、ルールを守って安全に乗っている様子が見られます。しかし、放課後には、「坂を猛スピードでおりてくる」「ヘルメットの着用をしていない」などの心配な様子が地域の方から寄せられます。

数年前に『小学生が歩道を自転車で走行中に、歩行中のお年寄りの方と正面衝突し、相手の方は重体。1億円近い賠償金を請求された』という事例がありました。自転車に乗っていると、被害者になるばかりでなく、加害者になる危険性もあります。子ども達が「自分の命を守ること」と併せて「加害者にもならない」ためにルールを守って、「歩行者優先」を意識して、自転車に乗る重要性を学校と家庭が繰り返し指導していければと思います。この機会に、「ヘルメット着用」や「損害保険加入」についても、ぜひご検討いただければと思います。また、地域で危険な様子など、気になる事がありましたら、お知らせいただけますとありがたいです。



開校134年

10月21日は真龍小の開校記念日です。1885年に開校したので、今年で134年を迎えることとなります。これまでに8,106人の卒業生を送り出してきました。これまで長い年月、真龍小を温かく見守って来てくださっている地域の皆様に改めて感謝致します。



『もりのやきゅうちーむ ふあいたーず』

【さく:北海道日本ハムファイターズ選手会 文:堀川真 北海道新聞社発】

北海道の森の中に、「ふあいたーず」という野球チームがありました。新しく仲間になったこぐまのびーくんは一生懸命練習をしますが、なかなかみんなのように上手にできません。いよいよ試合当日、こぐまのびーくんは、試合に出る事ができるでしょうか…。

この絵本は、ファイターズの選手や栗山監督が、みんなでアイデアを出し合って作り上げた絵本です。「ふあいたーず」の動物たちは、現役のファイターズの選手をイメージして作ったそうです。どの動物がどの選手か当ててみるのも楽しいかもしれません。ぜひ、読んでみてください。

※厚岸情報館に所蔵があります。(他に、シリーズ本が2冊あります)

<担当:真龍読み聞かせ隊 上田祥子>

